



2026年9月29日

各位

会社名 株式会社セキチュー
代表者 代表取締役社長 関口 忠弘
(スタンダード・コード 9976)
問合せ先 取締役執行役員経営企画室長
兼管理部長 銅島 賢
(TEL. 027-345-1111)

2027年2月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年3月25日に公表した2027年2月期第2四半期(中間期)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2027年2月期の通期業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2027年2月期第2四半期(中間期)個別業績予想数値と実績の差異(2026年2月21日～2026年8月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	15,500	450	500	350	63円 89銭
今回発表実績(B)	15,814	637	624	401	73円 81銭
増減額(B-A)	314	187	124	51	
増減率	2.0%	41.6%	24.9%	14.6%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026年2月期第2四半期)	16,094	523	530	328	60円 08銭

2. 2027年2月期通期個別業績予想の修正(2026年2月21日～2027年2月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	30,000	500	550	350	63円 89銭
今回修正予想(B)	30,000	600	600	350	63円 89銭
増減額(B-A)	—	100	50	—	
増減率	—	20.0%	9.1%	—	
(ご参考)前期実績 (2026年2月期)	31,867	619	637	400	73円 04銭

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間は、営業収益に関しては、主に夏季の天候不順等の影響により前年同期比で減少となりましたが、概ね前回予想通りの水準となりました。営業利益および経常利益、中間純利益につきましては、比較的利益率の高いD I Y部門の売上が好調だったこと、テナント誘致により賃貸収入が増加したことで営業総利益が改善したこと、人件費が増加する中、効率的な販促等で経費の削減に努めたことで、前年同期比で増加となり、前回予想を上回りました。

通期業績予想につきましては、第2四半期（中間期）までの業績の進捗を踏まえ、また、下半期の店舗改装等の投資計画を勘案し、前回公表値を上記のとおり修正いたします。

（注）上記業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上